

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和 7 年 6 月 9 日（月）午前 10 時開催の議会運営委員会終了後 議会委員会室

出席委員（7 名）

（委員長）又 野 史 朗 （副委員長）大 下 哲 治
稲 田 清 田 村 謙 介 徳 田 博 文 錦 織 陽 子
吉 岡 古 都

欠席委員（1 名）

門 脇 一 男

出席した事務局職員

毛利事務局長 田村事務局次長 松田調整官 坂本議事調査担当係長
松原議事調査担当主任

傍 聴 者

報道関係者 0 人 一般 0 人

協議事件

- 1 議会報告会・意見交換会の報告について
- 2 議会だよりの申し送り事項について

~~~~~

### 午前 10 時 21 分 開会

○又野委員長 ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。門脇委員から欠席の届出がありましたので報告をいたします。そうしますと初めにですね、協議事件 1、議会報告会意見交換会の報告について協議をいたします。まず、事務局から資料について説明をお願いいたします。

松原主任。

○松原主任 資料 1 から 3 について御説明いたします。まず資料 1、議会報告会意見交換会実施結果概要です。日程、出席議員、参加者、そして会の内容について記載をしております。続きまして、資料 2－1 から資料 2－3 は、1 班から 3 班、各班の班長に作成していただいた報告書に事務局で当日の写真を付けさせていただいたものです。そして、資料 3 ですが、こちらはアンケートの集計結果案です。先日の作業部会で、一部意見について削除したほうがよいのではという御意見がありましたので、削除候補の箇所とその旨の注釈を赤字で記載しております。該当箇所 4 ページと 5 ページにございます。また、あわせて作業部会でいただいたほかの御意見として、開催要項で「議長への報告に基づいて開催概要をホームページに公表」とあるので、議長にはアンケートの意見全てを報告して、ホームページには赤字意見を削除したものを掲載するという御提案もありました。資料 1 から 3 の説明は以上です。議長への報告資料及びアンケートのホームページ掲載について御協議と御確認をお願いいたします。

○又野委員長 ありがとうございます。そうしますと、資料 1、資料 2、資料 3、それぞれの件について御協議いただきたいと思いますけれども、最初の実施結果概要についても

作業部会のほうで、2ページ目のところですけども、議会報告会の内容、議長のですね、（２）の①、②ですけども、議会の仕組み、議会の活動と書いてあります。もともとは予算決算とかがあったんですけども、実際してないので削除というふうに変更させていただきましたし、資料２につきましても、字体、フォントとかがちょっとバラバラだったので、統一のほうもさせていただきました。で、資料３につきましては先ほど説明がありましたけれども、作業部会のほうで、議長への報告と実際にホームページに掲載するのは変えたほうがいいのではないかと。その理由として、直接、議会報告会とか議会に対する意見ではないものは外したほうがいいのではないかという話がありましたので、このように線を引いてあるところを削除したものを実際はホームページには掲載しようかなという案でございます。以上の点で御意見とかございましたらお願いいたします。じゃあ、そうしますと先ほどの説明のとおり、議長に報告してホームページに掲載するということで行きたいと思います。よろしくをお願いいたします。ありがとうございます。

そうしますと次に、資料４ですね。資料４につきまして、まあ確認ということになるんですけども、御協議したいと思います。事務局よりお願いいたします。松原主任。

**○松原主任** 資料４ですが、こちらは市議会ホームページに掲載予定の写真です。先日の作業部会にて当日の全体写真から２つ、議長説明の場面と最後の集合写真をお選びいただきました。御確認と御協議お願いいたします。

**○又野委員長** ありがとうございます。作業部会のときに何個か写真を見ていただいて、この２つに一応決めさせてもらいました。もうこれでいきたいと思いますって話なんですけれども、一応御確認をいただきまして。はい、吉岡委員。

**○吉岡委員** 付箋を貼った模造紙に、やはり今回いただいた生の御意見が直筆で書いてあるので、ぜひそれはホームページに載せていただきたいと思います。まとめを作っていたいてるんですけど、全部の意見は網羅できてないんですが、その中にでも見られて、あ、自分の意見ここにあるなとかいうふうに見ていただくことができるので、あれそのものがこの意見交換会の大きな成果であると思いますので、各グループの写真を載せていただけたらと思うんですが、いかがでしょうか。

**○又野委員長** 付箋の貼ってある分は確かにグループごとの分ではいるんですけども、まあ見えないでしょうね、確かにね。ちなみにその付箋で書いた分だけの写真ってお願いできるものなんですかね。松原主任。

**○松原主任** 当日会場で写したものありますが、少しピントがずれてたりするものがあります。ただ、原本を事務室で保管しておりますので、再度撮り直しは可能です。

**○又野委員長** ああ、なるほどなるほど。というところですけども、このことについてほかに御意見が。錦織委員。

**○錦織委員** ちょっと吉岡さんにお尋ねしたいんですけど、結局、３班で３グループずつなので９つ写真があるっていうことなんですけど、９つ載せたほうがいいということですかね。

**○又野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 議長に報告するものは限りがあると思うんですけど、ホームページに載せる分だったら、委員のほうからそういう御意見があるんだったら別に載せても私は構わない

と思っていますけど。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 否定をするつもりはないんですが、確認で。載せるときってPDFファイルに貼り付けて載せる、それともその単体で載せる。要は、見ても多分スマートフォンで見たら相当ピンチアウトというか、広げないと見えないし、パソコンで見るにしても同じで、相当拡大しないと見れないかなと。で、要はサーバーに上げるときのサイズ規制があればちょっと難しいんじゃないかなと思ったので、否定するわけじゃなくて、技術的にどうかというところは確認しておかなきゃいけないと思って発言しました。以上です。

○又野委員長 何か答えられますかね。松原主任。

○松原主任 ホームページに載せる画像とかは確かに、何ていうんでしょう、上限はございます。載せるとなったときは、ホームページ担当の秘書広報課とかと相談しながら、ちょっと方法は模索いたします。

○又野委員長 可能な限りというところにはなるのはしょうがないかなというところですかね。もしかしたら見えない、なかなかちょっと見づらい部分も出てくる可能性はあるというところで。

錦織委員。

○錦織委員 私が、全部載せたらっていうふうに言ったのは、恐らく一つ一つの字は見えないけれども、何ていうか、そのいろいろの雰囲気、その場の雰囲気っていうかね、それは伝わるかなと思って。本当だったら3枚ぐらいでいいのかなって思ったけど、それぞれの発表しているところも写すっていうことであれば、中身は見えなくても、その9枚載せるっていうのはいいのかなというふうに思ったんで。私はその中身が映ってないといけなとか、そういうことで全部って言っているわけではないので、お知らせしておきます。

○又野委員長 ちょっと確認ですけど、今回出してある写真がありますよね、それぞれの班の分の。これもホームページに載せる予定だったんですよね。違いましたか。

松原主任。

○松原主任 資料の2-1から3の写真でしょうか。これは載せません。

○又野委員長 なるほど、これ載せないんですね。

徳田委員。

○徳田委員 結局、載せるのは資料4のみということでもいいんですね、今のところ。

○又野委員長 松原主任。

○松原主任 はい、資料4の写真を載せます。のみです。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 そういうことであれば、ちょっと見せ方は相当工夫しないといけないなというのが1点あると思うんです。独立した部分で、そのつながりの中で発表時にこれ主張したものだからっていうのであればあれなんですけど、単一でぱっと出た場合、その見せ方がいい、いわゆるテロップといい、どういうふうにしたらいいのかなっていうところで、その点工夫をお願いしたいと思います。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 去年のホームページ見ると、写真は確かに2枚全体写真が写っていて、報告

書はPDFでリンクが貼ってあるので、そのPDFのが、さっき稲田さんが言われたように、PDFの形で貼り付けた形で報告書に連ねてやれば、ある程度の画素は確保できるのではないかと。直接載せようとするデータの大サイズの制限があるかもしれないんですけど、PDFだと割と資料なんか、2.7メガバイトみたいな載ってるので、報告書の続きでその画像が載っていると大丈夫かなとは思いますが。まあ、それは事務局に検討してもらって。

**○又野委員長** そうすると、どういう感じなのかな。

稲田委員。

**○稲田委員** 技術的な部分もあるので、載せるのを前提に検討されつつ、ちょっとこれを載せると逆に見る方が不満足というか、ていうことがあれば、これはもう委員長裁量で載せないというのをもうすぐにしていかないと、もう多分今日この会で終わらなきゃいけないので。もう最終的には委員長に預けるということでどうでしょうか。という、皆さんに提案したいと思います。

（「それでいいと思います。」と声あり）

**○又野委員長** いいですかね。じゃあ、このままで載せる方向で、あとはちょっと相談しながら。で、最終的にはというところで。田村委員。

**○田村委員** 私もさっきの吉岡委員さんのやつ否定する立場ではないんですけども、いわゆる付箋が反ってたりとかですね、いろんなちょっと見えにくい状態っていうのはあったなっていうのはすごく思ってます。あと、いわゆるカテゴリーとしてここがついていうのは各班が統一できてないので、どういう意見が散らばってるのかっていうのを、さっき稲田委員もおっしゃったけど、ピンチアウトして1個1個見ていくようなニーズが果たしてあるのかっていうことだと思ってます。なので、これはそういうのも含めて、情報提供するというのはするべきだと思いますが、やはりそこに市民の、参加者の満足にだけのものであれば、それは御判断いただければなというふうに思います。以上です。

**○又野委員長** 大下委員。

**○大下委員** この資料2-1のほうに既に何か報告、こういう何か案件がありましたっていう報告は載せられてる、載せられるんですよ。

**○又野委員長** ああ、ホームページに。

**○大下委員** その上にまたもう一回写真を載せるっていうことでよろしいですか。

**○又野委員長** ていう話ですね。そういう、皆さん認識ですよ。そこら辺は共通して、はい、ですね。

**○大下委員** そこら辺は委員長の判断にお任せで。

**○又野委員長** じゃあ、大下さんも副委員長ということで、よろしくお願いします。はい、じゃあちょっと相談して。基本的には、できる方向でっていうことを基本にしながらというところで行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。ほかにありますか、それ以外で。

〔「なし」と声あり〕

**○又野委員長** はい。じゃあ、写真については以上ですね。

そうしますと、次が、じゃあ資料5のほうに行きたいと思います。事務局より説明をお

願いいたします。

松原主任。

**○松原主任** 資料5について御説明いたします。こちらは先日、作業部会で議会報告会意見交換会の振り返りを行い、そこで皆様から出た御意見をまとめたものです。説明は以上です。御協議と御確認お願いいたします。

**○又野委員長** ありがとうございます。そうしますと、この今回行った議会報告会・意見交換会の振り返りと申し送り事項というところですけども、御覧になって何か御意見等を追加等ありますでしょうか。

徳田委員。

**○徳田委員** この表の3段目ですけど広報・報道ということで、報道は1社のみであったと。去年は全くなかったという中で、1社だけあっただけでも成果とは言えるものですね、これはどういう周知っていうか、報道関係には対応っていうか、それはされたんですかね。例えば何社かかけた中で1社のみななかったのか、あるいは1社のみの対応なのか。

**○又野委員長** 田村次長。

**○田村事務局次長** 報道機関に対しましては、記者クラブに加盟している報道機関17社に対して報道提供をいたしました。その内容につきましては議員さんのほうにメールで送らせていただいております。あとは中海テレビさんのほうには社員の方に出会う機会がありましたので、ぜひお願いしますということは声をかけさせていただきました。以上です。

**○又野委員長** 徳田委員。

**○徳田委員** 分かりました。工夫はされてるということであれなんですけど、ちなみに、この報道1社っていうのはどこですかね。

**○又野委員長** 田村次長。

**○田村事務局次長** 日本海新聞さんでした。

**○又野委員長** 田村委員。

**○田村委員** 口頭ですすね、地元のケーブルテレビ局にお願いされたけど、来てないっていう現状について、なぜ来なかったんですかとぜひ聞いていただきたいんですけど。

**○又野委員長** 何か答えられますか。毛利事務局長。

**○毛利事務局長** 皆様方の思いを含めた形でですね、私のほうから、直接記者さんというよりは少し上の方とお話をする機会を持ちたいと思いますので、皆様方の御意見としてまずはお伝えをしたいということで回答という形にさせていただきます。

**○又野委員長** 田村委員。

**○田村委員** 責めるという意味じゃなくて、要は年始にマスコミも含めてですね、新年の懇談会というのをやってるじゃないですか。やっぱりそういうのでぜひこの議会の活動というのを、来ていただいた報道関係の方に広く広めていただきたいという思いがあつてのことだと僕は思っていて、やっぱそこが普通にスルーされちゃうと、こういうね、イベントが。やはりちょっとやるせないということで。社の方針とかいろいろあると思うんですけども、やはりそこはぜひ、今回は来られてませんでしたけどっていうことで、踏まえた上で、ぜひ次回はっていうふうな交渉をしていただきたいと思います。要望です。

**○又野委員長** ありがとうございます。吉岡委員。

**○吉岡委員** この議会報告会と意見交換会っていうものが、例えば議会として御意見を賜って、それをじゃあ執行部にとか市長にとか、何かアクションが続くものであれば、この代表の市民の方が市長にこの御意見をまとめたものを議会と一緒に市長に提出するとか、そういう先があればマスコミの方も関心を持ってくださると思うんですけど、結局これだけで終わっているっていうことは、ただの議会のパフォーマンスだっていうふうに捉えておられるとしたら、あまり時間を割いてまで来てくださるってことはないのではないかなっていうふうに思いますので、その在り方も含めて、マスコミの方が関心を持ってもらえるような意見交換会・議会報告会にこれからしていけばいいのではないかなとは思っています。

**○又野委員長** 委員長の立場でちょっと思ったのは、参加していただくところ、団体とか学校とかには行ってるので、記者クラブのほうにも、次どなたになるか分からないですけども話をしに行って、ぜひとも参加してくださいって言って、そのときにでも、いやーちょっとこれはみたいな話があったら、理由とか聞いたりしたらまたいいのではないかなと思っていますところなんです。どっちみちいろんな団体に話に行くんで、その一つだと思って、次の委員長さんには伝えようかなって思ってるところです。ほかに何かございますでしょうか。

吉岡委員。

**○吉岡委員** この議会報告のところなんですけど、私たまたまグループでお隣に座られた子育て中の女性に議長が説明されてるときに、私は簡潔に分かりやすく説明されてるなと思ったんですけど、言ってること分かりますって言ったら、全然って言われて。何かやっぱりもっともっと視点を下げないと、かなりかみ砕いて言われたとは思ってたんですけど、それでもまだ市民の方にとってはハードルの高い、言葉の使い方とかハードルが高いお話だったんだなと感じたので、そのあたりは工夫の余地があるのかもしれないなと思いました。

**○又野委員長** うんうん、なかなか難しいとこですね、確かに。そのことも口頭で議長には追加で伝えておきたいと思います。ほか何かございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○又野委員長** じゃあ、基本的にはこれで申し送りのほうをしたいと思いますので、ありがとうございます。大下委員。

**○大下委員** 参加者の中の方からちょっと意見があったのが、ちょっと若い人が多すぎるっていう。

**○又野委員長** おおー。

**○大下委員** というような。何か若い人っていうか、まあその中の…。といった意見もありましたので、ちょっと。

**○又野委員長** なるほど

**○大下委員** 高校生と何かグループの中に結構若い衆が多たって感じられたっていうのがおられましたので、そこだけはちょっと。まあ、今後の参考をお願いします。

**○又野委員長** 稲田委員。

**○稲田委員** 否定をするつもりはありませんが、要は来られた方の中で1人の意見をもつ

て多数の意見のように感じて受け取るのか、1人の意見だから1人の意見で受け取るのかは各委員のもうこれ裁量だと思うんですよ。ですので、大下委員が言われた内容を取り上げるとすると、じゃあ年齢構成考えましようかっていうことになるんだけど、うーん、そこまでは必要がどこまであるのか、というのは率直なところですよ。我々がもしこだわるとすればですよ、来る方の全体の人数はある程度目標持ってやったほうがいいと思います。が、その年齢とか性別とか職業とか、細かく言い出すときりがないですけど、そこまで入り込むと、またこの開催自体が結構ハードル高いというか、手続きをたくさん踏まなきゃいけない会になるので。私はそこに全く違和感を感じなかったものですから、あまり本気で取り上げると後がちょっと大変になると思う、という意見を言わせていただきました。

**○又野委員長** ありがとうございます。確かにテーマごとで声かけるところもいろいろ分けてたので。例えば2班は投票率のことだったので若い人ばかりに声かけてたっていうのがあるので。まあ、そのテーマ設定にもよると思いますんで、そこら辺で考えながら、はい。そのときそのときでテーマによって考えながらいけばいいかなという感じは私もあります。

田村委員。

**○田村委員** 若い人がっていうのは、この何ていうんですか、意見交換会というか今回のこの行事自体がいわゆる主権者教育の一翼を担っているというふうに僕自身は思ってます、ある一定数の若い方は絶対呼ぶべきだというふうに思ってます。今、委員長おっしゃったように、テーマごとにその年代をね、工夫していくっていうのももちろん必要だと思いますけれども、僕は現状のままでいいのかなというふうに思ってます。

**○又野委員長** 徳田委員。

**○徳田委員** 大下委員に関連するような関連しないような話なんですけど、実は、去年は子育て支援だということで市の支援センターの絡みだとか子育ての方から、今年は開催しないのっていうことで、そういう理解をされてなくてですね、実は私のところに個人的に、こういった意見ありますよっていうような部分が個人的に私のところに来てました。なんで、当然年度ごとにテーマ変えるのはあれなんですけども、例えばそういった意味で今年度のテーマっていうことはきちっともう周知はされてると思うんですけども、前回参加された方は、やはり今年もあるもんだという前提で思われとったみたいでして。ちょっとこれ、ちょっと抜け落ちの点じゃないかなと思いましたんで。ですので、昨年参加された団体には、今年はこのテーマでやると。直接関係ないかもしれませんが、そういった意味での連絡は一言あったほうがいいのかなというふうに思いました。個別に私のところに連絡がありましたもので。今年はやらないのっていうような話で。

**○又野委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** 私は今のスタイルすごくいいと思っています。行政が、執行部側が市民に御意見伺うときは、どうしても審議会とかパブコメとか、例えば団体に会われるとかいうとどうしても高齢の方、男性に偏りがちなので、今回あれだけ若い方が、しかも子育て中の方が来ていただいたりするの、そこは議会の強みであったのかなと思っていますので、高齢の方はたくさんそのルートがあるけど、若い方ってなかなか行政や議会や意見を言うル

ートをお持ちではないので、何か議会は行政と違う意見を酌み取れるんだみたいところで、今のスタイルを貫いてもいいのではないかなと思います。

**○又野委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 皆さんが意見をおっしゃるので、私もそれじゃあ。私も今のスタイルでいいんじゃないかなというふうに思います。でも、強いて言えば、女子の高校生が多かったんで、男子も来てくれたらいいなって思うんですけど、なかなか出たがらないよね、こういうのね。なので、まあそれはそれで無理強いしてもしようがないので、今の感じでいいと私は思います。以上です。

**○又野委員長** ありがとうございます。そうすると、今回の振り返りと申し送り事項はこの分でいかせてもらうとして、そうですね、何か議会報告会の中でかどこかで、テーマは毎年変わるので、声をかける団体さんも変わりますっていうような説明をどっかでするような形をしておいた方がいいかもしれないですね。

徳田委員。

**○徳田委員** 私らサイドとしては、そりゃ当然テーマ変わって、そのためにテーマ選定するわけですからあれなんですけど、前回参加者の方からしてみれば、またやるんでしょうという理解のまんま突き進んでいらっしゃるわけでした。その辺がやっぱり齟齬があるのかなと。こっち側の、ホスト側の対応と、来られる側の対応がやっぱりその辺そごがあったというふうに。その旨説明はしましたが、毎年テーマ変えるんでということで説明はしたんですけど、何でしねえの、しないんだったらこの意見出しとくわ、っていうような話だったんで。

**○又野委員長** はい。ありがとうございます。

**○徳田委員** その点ちょっと徹底しておいていただければ。

**○又野委員長** そうですね。はい。それぞれの団体にそれぞれ説明っていうのはまたちょっとあれですので、議会報告会の周知のときですとか、報告会の中でですとかで、ちょっとそういう一言を入れるような格好にしといた方がいいのかなっていうところですね。ちょっと忘れないようにそれは申し送りに入れておきましょうかね、その点はね。

松原主任。

**○松原主任** では、資料5の申し送り事項に追記をいたします。

**○又野委員長** よろしくお願いします。ほかに何かございますでしょうか。じゃあ、それで申し送り事項は決定したいと思います。ありがとうございます。

では、次に行きます。協議事件2ですね、議会だよりの申し送り事項について協議をしたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。

坂本係長。

**○坂本係長** 議会だよりのほうなんですけれども、次の委員さん、委員さん代わられますので、次の委員さんへ議会だよりを引き継ぐ対応について本日は御確認いただきたいと思います。資料を御覧ください。議会だよりに関する検討経過ということで、令和4年の議員改選の以降に取り組んだ議会だよりの改善の取組状況を表のとおり記載しております。初めの1ページ目の表なんですけど、こちらは4年度と5年度の取組状況です。また次のページのほうは、令和6年度の議会だよりの作成費が年々上がってきていることから、経

費削減について御協議いただきましたので、協議での意見や状況を追加で記載しております。改善できる部分につきましては既に改善済みでありまして、すぐには改善できない項目について継続協議となっている状況ですので、次期の委員さんには、記載した項目について留意しながら議会だよりの作成に関わっていただきまして、必要に応じて協議して改善ができればなと思っているところです。以上のとおり挙げている項目につきまして、補足や追加、修正など御意見がありましたらお願いしたいと思います。以上です。

**○又野委員長** はい、ありがとうございます。令和4年、5年度からの協議項目と、あと令和6年度のときの内容ですけれども、令和6年度、まあ今回のメンバーでは基本的に議会だよりの何か根本的なところを変更できないかっていうところがメインになって、タブロイド版の話とかになったので、ちょっと細かいところまで、それまでの4年、5年の分のところまでは行けなかったのかなあと考えておりますんで、このようなところを次に申し送り事項として引き継げていけたらなというところですが、ほか何かこういうのがあるとか、御意見等ありますでしょうか。

徳田委員。

**○徳田委員** 私この中で、議会だよりの分で何か言ったか言わないか分かりませんが、結局、改善しようにもこちらの視点ですって考えとて、多分それ以上の新たな発想というのは出ないので、まあ可能かどうか分かりませんが、マクロミルみたいな分でアンケート調査みたいなものをちょっとやってみるのも一つかなあと。市民の方に対してですね。具体的に読まれてこういう、まあ質問項目についてはちょっといろいろ考えないけないんですけども、回収も即座にマクロミルですんでできるわけですので、費用的な部分もかかりませんし。というような格好で、ちょっとそれも検討してもらえたらと思います。ていうのが、結局、見られた側がやっぱりどのように見ておられるか。あるいはこの紙面の部分でのちょっとこういった工夫がもうちょっと欲しいのかどうか、出てくるやもしれませんので。その辺も参考にしながら、作り手側だけの創作、変更ではやっぱりちょっと限界があると思いますんで、その辺もちょっと検討していただければと思います。費用的な部分はそんなにからんとしますので。

**○又野委員長** このことについて。稲田委員。

**○稲田委員** 3回目ですけどね、否定するつもりはございません。もしレスポンスが返ってくる方は、いわゆるヘビーユーザーというか、議会だよりに普段から関心を持っている方、からの返答が多いのかな。むしろそういう方の声を聞きたい自分もあります。で、結局約6万部、市中に、市中にというか手元に行くもので、幅広く見てもらいたいと。もっと言うと、普段見ない方が手に取っていただいて、一文字一文字読んでもらいたいってなると、そのユーザー側のニーズを入れれば入れるほど、いいふうに行けばいいんですけど、まあいいふうというか、どういう効果を狙うかなので。要は満足度を上げるというのは、既にあるユーザーの満足度を上げるのか、新規の顧客の数を増やしながら上げていくのかは、ちょっとこれ大きな問題に、大きなテーマかなと思いますので、少なくともそのアンケート調査をするところまではやったとして、それをやっぱりちゃんと吟味しないといけないかなと思いました。要は、何ていうのかな、もっと一般質問の分量を増やしてほしいという意見が多くなったら、また文字数も多くなって、文字のフォントが小さくなっ

ていくことが果たしていいのかとかっていう。逆の効果を生みかねないので、そこは注意してやるならば、その注意が必要だと思いました。以上です。

**○又野委員長** 徳田委員。

**○徳田委員** 稲田委員の言われるとおりなんですけどね、結局、作り手側だけでああだこうだやとつても限界があるということを申し上げたわけでして、一つの参考として、その出された意見が大多数の意見は別としまして、それをそのまま取り入れるという格好ではなくて、知恵をお借りする中で、現実、より現実の多様なヒントをもらうという意味でも、僕は早急にアンケートはやるべきだというふうに思います。

**○又野委員長** 吉岡委員。

**○吉岡委員** お2人の御意見もつともだと思って、議会だよりというものをどういう方に見てもらう目的で作るかっていうのが全部の議論につながると思っていて。ページの削減にしても、さっき言われたみたいに、やっぱり一般質問のところ見ておられる方とでも多いし、ある程度紙媒体がお好きな方が見られるっていうことであれば、その部分を大きくして、字を大きくして、あんまり見ないところはホームページに誘導するっていう形ではないとページ数は削減できないと思います。何かページ数削減っていう観点からいっても、誰に届けるのかっていうところをまず私たちが決めないと、アンケートは取ったらいいと思うんですけど、その先の対処がオロオロしてしまうのかなっていうふうに思いますし、やはり、だけど紙は減らしていくっていう方向は間違いないと思うので、デジタルに親しんでる方はやっぱりもっとホームページで情報がないとちょっと物足りないっていうところはあるので、もう両方並行してやらないといけないことじゃないかなと思います。

**○又野委員長** ちょっとアンケート調査はしたほうがいいんじゃないかっていうところだと思うので、申し送りというか、申し送りになりますかね。次のところにそういうような事項を加えるという方向で。あとアンケートの内容とかですかね、本当に大事になってくるのは。で、その後の、何をどのようにその意見を取り入れていくのかっていうところも注意しながらっていうところですね。なかなかちょっとぱっと考えたときに難しい。かなり時間かかりそうだなと思ってしまいました。

錦織委員。

**○錦織委員** 私はアンケートを、いろいろ考えとしなくてもいいのかなっていうふうに思います。ていうのは、先ほど稲田委員がおっしゃったように、アンケートに答える方は恐らく何かについて、この議会だよりについて意見を持っておられる方だと思うので、いいとか、ここを変えたほうがいいとかね、もっと詳しくとかっていうふうな思いがある方だと思うし、じゃない方、今まであんまり議会だより見てないっていう方たちに、どういう方法でアンケートを取るのかなって思ったりすると、これは、そのアンケートそのものがとても難しい、取るのが難しいなあっていうふうに思うので、ここはちょっとそういう方たちの恐らく答えないだろう関心のない方に対して、議員が、見えますか？とかっていうふうなまあ日頃聞いてみてね、そういう意見をちょっと持ち寄ったりしたら、まず第一段階としてはどうかなって思ったりするんですが。あんまり聞かないですね、私。議会だよりに掲載しましたねとかっていうことは聞くんだけど、たまに聞くことあるんですけど、編集の仕方とかどう？とかっていうことは、あまりその中身までは聞いたこと

ないんで。そういうような意識して、議員がまず第一段階としては聞いてみたらどうかなっていうふうに思います。以上です。

**○又野委員長** そうすると、アンケート調査の…、何て申し上げたら。

稲田委員。

**○稲田委員** まあ、着地点が決まって、そのツールでアンケートをするかどうかというふうなのかもしれませんが話としては進みやすいかなと思いますので、申し送りとしては、アンケートを取るなど、あるいは周りの人に意見を聞くなどして、委員の意見にとどまらず、周囲の意見を取り入れて紙面を考えていこう、いきましょう、という申し送りにしておけばいいんじゃないでしょうか。

**○又野委員長** はいはいはい、そういう感じですね。はい。じゃあ申し送り事項に、アンケートや周囲の人に意見を聞くなどしてみる、みたいな感じですかね。で、紙面の改善を図ってみるというところですかね。ほか何か御意見ございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○又野委員長** じゃあ、追加のほうよろしいですかね。

坂本係長。

**○坂本係長** 先ほどのアンケートのことなどについては、6年度のあの表の中に入れるという形でよろしいですか。

**○又野委員長** そうですね。

**○坂本係長** では、委員長さんにまた見ていただいて確認させていただきたいと思いますので。追加させていただきます。

**○又野委員長** よろしくをお願いします。よろしいでしょうかね。そうしますと、取りあえず協議事項は以上ですけど、ほかに何かございますでしょうか。

稲田委員。

**○稲田委員** 今日で実質最終ですよ。

**○又野委員長** そうですね。

**○稲田委員** 皆さん、1年間お世話になりました。次はないと思いますので、今発言させていただきます。私も以前からですが、この4年の中で最初は議長として、次は委員として、特に議会報告会のほうはこの形をつくらせていただいた、お手伝いさせていただいた中で、ほぼほぼもう議会報告会の在り方は、今のやり方はいいんじゃないかなと。微修正はもちろん必要だと思いますけど。で、言わんとしてることは、この協議して新しいものをつくる段階から、そのできたものをきちんとしっかり維持管理していくというふうにステージが変わっていく潮目だなと個人的には思ってます。要は新たに議会報告会のやり方を大きく変えるなんいうてことは、今皆さんの頭の中にはないんじゃないかなと。

そこまで言い切った上で、この広報広聴委員会の委員の人选の在り方については、毎回毎回そのときにいろんな形で決まってくるんですけども、今後申し送りとして、これは委員長から議長に対しての申し送り、申し送りっていう言い方がいいか分かりませんが、まあ委員の選抜については、例えば3常任委員会がありますので、そこから各委員長に出てきてもらって、あとは議会運営委員会からとかで会派のバランスも取りながら、それほど多くの数でなくてもいいと思うんです。特に誰がする、しないとかではなくて、

もうさっとメンバーが決まる体制をつくってですね、次の令和7年度分はもう今のやり方でいくしかないと思いますけど、改選後に向けてそういった協議の場を、まあ広報広聴委員会がいいのか、各派会長幹事長会議がいいのか、その辺は議長の意見も伺わなきゃいけないと思いますし、副議長もいらっしゃいますけれども。すぐに答えはとは言いませんけど、次の1年で改選後には広報広聴委員の委員がさっと決まる体制づくりをお願いしておきたい。これがお願い事項です。以上です。

**○又野委員長** はい、ありがとうございます。そうしますと、一応この場ではその人選については決定するっていうわけにはいかないと思いますので、おっしゃったとおり議長にちょっと相談して、はい。どこでどういうふうにしていくかっていうのは議長のほうに投げかけるとするか、もうお任せしたいなとちょっと思っておりますんで。

（「よろしくお願いします。」と稲田委員）

はい、ありがとうございます。

田村委員。

**○田村委員** 私も稲田さんと一緒に、皆様お疲れさまでしたということでございます。私、充て職ですので、また次もここに座るということで。そしてみんないなくなった状態になっちゃうんですけれども。寂しいです。本当に皆さんと一緒にできてよかったなと思います。で今回、まあ今言うなよという話なんですけど、議会報告会、やり方であるとか進行であるとか、中身については今のまま踏襲したらいいと思ってるんですけども、例えば、これは事務局にお伺いしたいんですが、例えば401会議室で開催することによっての不都合、要は人が減っちゃうとかね。例えば今の報告見てると大体100名ちょっと、事務局入れても110余名。で、この部屋を見回してみると大体収容6、70かなというふうに見るんですけれども、下の401ってこの倍ぐらいあるわけですし、できないことはないのかなあと。で、そうなると、来ていただいた方に例えば議会ツアーなんかね、議場を見ていただきたりとか、いわゆるこういう会派室なんかを見ていただきたりとか、こういう形で物事決まってるんだよということをより身近に感じていただけるんじゃないかなというふうに私自身思ってますので、来年度またビッグシップでされるのは全然いいと思うし、その分バジェットかかるだけの話なんですけれども。例えば今印刷費が高騰でとかっていう話がもしあるのであれば、そういう代案というものも考えた上で、駄目だったら駄目で今までどおりでいいんですけれど、そういうちょっと工夫というか、そういうことが次期のこの委員に御提示いただけるような状態の情報をぜひ入れていただきたいなというふうに要望したいと思います。以上です。皆さんお疲れさまでした。

**○又野委員長** 申し送りではなくてっていうところですね。

（「これはこう事務局にお願いをするということで。」と田村委員）

ああ、分かりました。はい。ほかにございますでしょうか。

そうしますと、先ほどから1年間お疲れさまでしたというお話が。私からも、本当に皆さん、皆様のおかげで無事に広報広聴委員会、委員長も務めることができました。1年間お疲れさまでした。ありがとうございます。以上で終わります。ありがとうございます。

**午前11時11分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長      又   野   史   朗